

2014

高校演劇

阪神大会鑑定団

鑑定士 小原 洋（西宮香風高校）

はじめに

- 1 演劇は舞台芸術です **創る側の自由** が保障されます
- 2 演劇の審査は、舞台芸術の総合評価です **観る側の自由** が保障されます
- 3 脚本、舞台美術（大道具・衣装・小道具）、役者の演技、音響効果（BGM・SE）のすべてが評価の対象です
- 4 評価に客観的基準はありません **審査員個人の演劇観** で上下します
- 5 県・近畿・全国の大会では、複数の審査員の評価を重ね合わせて補正します

評価について（採点競技のジレンマ）

- 1 演劇コンクールの評価は、スポーツの採点競技と似ています。
難度の高い技にチャレンジして失敗した場合と、難度の低い技をきれいに決めた場合と、いったいどちらがよいのか。
- 2 演劇の場合、**難度の高さは脚本で決まって** きます。要するに、どれだけパーフェクトに演じても（実際はほとんど無理）低評価しかできない本があるということです。高評価を求めるなら、まずは本の難度を上げることを考えましょう。

